

2016年3月15日
野村不動産アーバンネット株式会社

報道関係者各位

「定年退職後の夫婦の生活」意識調査を実施

定年したからこそ住みかえたいくなる3つの理由は、
～「バリアフリー」「子供との近居」「今の家が広すぎる」～

野村不動産アーバンネット株式会社(本社:東京都新宿区/取締役社長:宮島 青史)は、「定年退職後の夫婦の生活」意識調査を実施しました。この度、調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

定年退職を意識し始める年代である50代、60代が働く環境は、今、大きく変化しています。2013年の「高年齢者雇用安定法」の改正では、「原則、希望者全員を65歳まで雇用」を義務づけました。厚生労働省の「2015年 高年齢者の雇用状況」集計では、60歳定年の企業における定年到達者のうち、継続雇用された者は82.1%に達します。一方では、役職定年制を導入する企業も増えて、50代から働き方が大きく変わる会社員も増えつつあります。

このように働き方が大きく変化する50代60代ですが、家庭に目を向けると、子供の独立、親の高齢化、実家の相続など、家族や住まいにも変化が起こる年代です。

そこで、住みかえのサポートを行う、野村不動産アーバンネット「野村の仲介+(PLUS)」では、サラリーマンと元サラリーマン世帯(配偶者は専業主婦またはパート・アルバイト)の50代60代夫婦を対象に、「定年退職後の夫婦の生活」意識調査を実施しました。夫と妻の意識の差、定年退職前と定年退職後の意識の差などに着目した調査結果をご報告します。



【調査項目】

1. 定年後のイメージについて
～妻は夫よりも、定年退職後の生活にネガティブなイメージを持っている～
2. 夫婦円満の秘訣について
～夫婦生活の幸福を実感できる3つの習慣は～
「できるだけ会話をする」「一緒にご飯を食べる」「相手を尊重する・思いやる」
3. 定年準備について
～退職準備の3つのお役立ちキーワードは～
「住まい」「趣味」「健康」
4. 定年後の住まいについて
～定年したからこそ住みかえたいくなる3つの理由は～
「バリアフリー」「子供との近居」「今の家が広すぎる」

【調査結果】

1. 定年後のイメージについて

～妻は夫よりも、定年退職後の生活にネガティブなイメージを持っている～

定年退職後の具体的なライフプラン（人生設計）を持っているという回答は、夫 37.5%、妻は 27.5%にとどまりました。

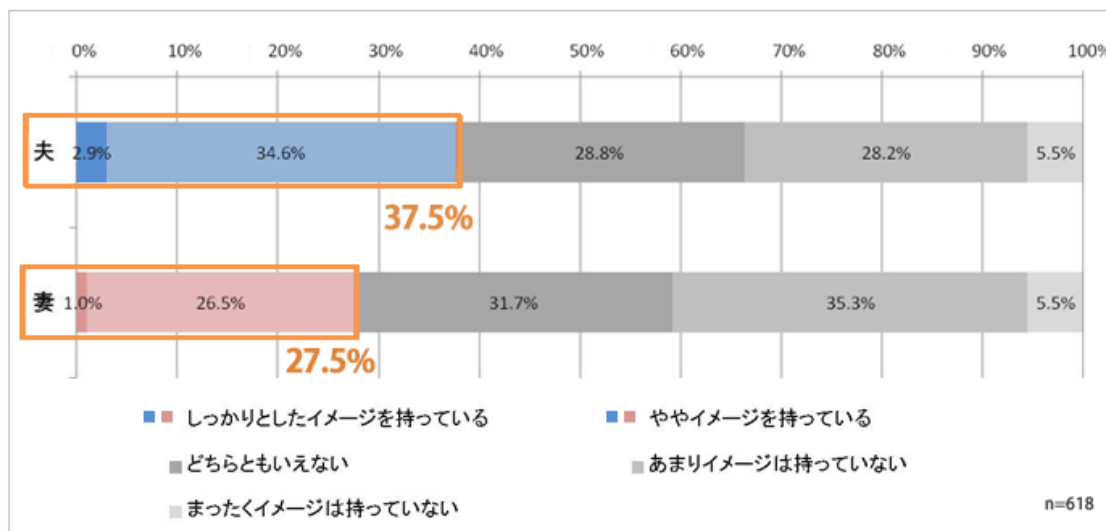
また、定年退職後の生活イメージを 30 項目から選択してもらったところ、ポジティブな項目では 14 項目中 13 項目で、夫の回答が妻よりも多い結果となりました。特に大きな差がみられたのが、「自分」に関する項目です。定年後「自分の趣味や楽しみを第一に生活を送れそう」は、夫の 48.5%がイメージしているのに対し、妻は 27.7 %となり、「自分の夢や目標に思う存分チャレンジできそう」とイメージする方は、夫が 37.2%に対し、妻は 18.6%となりました。

一方、ネガティブな項目では、16 項目中 14 項目で、夫より妻のほうが多くイメージしています。「親の介護など時間が増えそう」は妻の 40.0%がイメージするのに対し、夫は 23.9%、「病気や体力の衰えなど健康面での不安が増えそう」は妻の 71.2%がイメージするのに対し、夫は 57.4%となりました。

長いサラリーマン生活から一転、新たな生活への期待感を感じている男性に対し、女性は、より現実的な心配事が頭に浮かんでいるようです。さらに、女性からは、「生活リズムが変化しそう」と「漠然とした不安がありそう」がともに6割を超える回答となっていて、これまでの日常に『夫』が加わってくることでの変化が想像できず、戸惑っていることがうかがえます。

<定年退職前の 50 代 60 代夫婦に聞きました>

Q あなたは、定年退職後の具体的なライフプラン（人生設計）のイメージをお持ちですか。



Q 定年退職後の生活についてどのようなイメージをお持ちですか

全 30 項目からイメージするものを選んでいただきました。（複数回答・無制限）

全体（夫・妻）ランキング TOP5	
1 位	夫婦で一緒に過ごす時間が増えそう
2 位	病気や体力の衰えなど健康面での不安が増えそう
3 位	年金の支給額への不安がありそう
4 位	生活リズムが変化しそう
5 位	生活費や医療費など経済面での負担が増えそう

■ 定年後のイメージ ～ポジティブな回答項目 TOP10～

夫のランキング			妻のランキング		
1位	夫婦で一緒過ごす時間が増えそう	66.2%	1位	夫婦で一緒過ごす時間が増えそう	68.3%
2位	夫婦で旅行に行く機会が増えそう	55.3%	2位	夫婦で旅行に行く機会が増えそう	52.9%
3位	自分の趣味や楽しみを第一に生活を送れそう	48.5%	3位	夫婦の会話が増えそう	39.5%
4位	夫婦の会話が増えそう	44.3%	4位	健康寿命を延ばす様々な取り組みを始めそう	36.1%
5位	健康寿命を延ばす様々な取り組みを始めそう	39.5%	5位	自分の趣味や楽しみを第一に生活を送れそう	27.7%
6位	自分の夢や目標に思う存分チャレンジできそう	37.2%	6位	友人・知人との交友をさらに深められそう	26.1%
7位	DIYやガーデニングにもっと時間を使えそう	35.6%	7位	DIYやガーデニングにもっと時間を使えそう	23.5%
8位	孫や子どものために時間を使えそう	31.7%	8位	夫婦の仲がより良好になりそう	22.8%
9位	夫婦の仲がより良好になりそう	29.3%	9位	孫や子どものために時間を使えそう	20.4%
10位	友人・知人との交友をさらに深められそう	29.0%	10位	自分の夢や目標に思う存分チャレンジできそう	18.6%

■ 定年後のイメージ ～ネガティブな回答項目 TOP10～

夫ランキング			妻ランキング		
1位	年金支給額への不安がありそう	58.9%	1位	病気や体力の衰えなど健康面で不安が増えそう	71.2%
2位	病気や体力の衰えなど健康面で不安が増えそう	57.4%	2位	年金支給額への不安がありそう	67.8%
3位	生活費や医療費など経済面での負担が増えそう	50.8%	3位	生活リズムが変化する	61.0%
4位	生活リズムが変化する	49.5%	4位	漠然とした不安がありそう	60.2%
5位	漠然とした不安がありそう	48.9%	5位	生活費や医療費など経済面での負担が増えそう	59.1%
6位	家事の時間や量が増えそう	29.6%	6位	親の介護など時間が増えそう	40.0%
7位	社会との繋がりが減ってしまいそう	29.4%	7位	配偶者との死別に対する不安がありそう	36.9%
8位	再就職できるかどうかに対する不安がありそう	28.5%	8位	家事の時間や量が増えそう	32.8%
9位	配偶者との死別に対する不安がありそう	26.7%	9位	定年退職による喪失感がありそう	29.6%
10位	子供・孫の将来に対する不安がありそう	24.3%	10位	再就職できるかどうかに対する不安がありそう	29.4%
11位	親の介護など時間が増えそう	23.9%	10位	子供・孫の将来に対する不安がありそう	29.4%

2. 夫婦円満の秘訣について

～夫婦生活の幸福を実感できる3つの習慣は、
「できるだけ会話をする」「一緒にご飯を食べる」「相手を尊重する・思いやる」～

「人生80年時代」の今、定年退職後のセカンドライフは長くなっています。夫婦2人で過ごす時間が増えるセカンドライフに向けて、夫婦円満の秘訣をお聞きました。

夫婦の暮らしをより充実させるためにやっていることのトップ3は、1位「相手を束縛しない」、2位「お互い干渉しない」、3位「相手を尊重する・思いやる」となり、いずれも相手を気遣う行動が上位となりました。続く4位は「一緒にご飯を食べる」、5位は「できるだけ会話をする」でした。

今回の調査に合わせて夫婦2人の生活の幸福度をお聞きしたところ、10点満点中、平均点は6.8点となりました。

そこで、幸福実感性が高い(平均以上の)人夫婦と、低い(平均以下の)人夫婦の回答を比べたところ、幸福実感性が高い夫婦は、低い夫婦に比べて、「できるだけ会話する」「一緒にご飯を食べる」「相手を尊重する・思いやる」を20ポイント以上行っていることがわかりました。

一方で、幸福実感性が低い人に目立つ行動は、「お互い干渉しない」「なるべく耐える・我慢する」「文句を言わない」「寝室を別にする」などでした。個を重視するあまりコミュニケーション不足に陥ると、幸せの実感が得られないということかもしれません。過度の干渉・束縛は禁物ですが、言いたいことを言い合える関係を保つのが夫婦円満の秘訣かもしれません。

<50代60代の夫婦に聞きました>

Q 夫婦の暮らしを充実させるために行っていることは。(複数回答・無制限)

全体ランキング TOP5	
1位	相手を束縛しない
2位	お互い干渉しない
3位	相手を尊重する・思いやる
4位	一緒にご飯を食べる
5位	できるだけ会話する

幸福実感性が高い夫婦のランキング		
1位	相手を尊重する・思いやる	52.5%
2位	一緒にご飯を食べる	51.9%
3位	できるだけ会話する	49.4%
4位	相手を束縛しない	49.3%
5位	お互い干渉しない	41.4%
6位	相手の話をよく聞く	41.3%
7位	適度な距離感を保つ	36.2%
8位	常に感謝の心を持つ	32.1%
9位	お互いのプライバシーを尊重する	29.8%
10位	相手にあまり多くを望まない	29.5%

幸福実感性が低い夫婦のランキング		
1位	お互い干渉しない	51.5%
2位	相手を束縛しない	44.3%
3位	適度な距離感を保つ	32.3%
4位	相手にあまり多くを望まない	31.8%
5位	相手を尊重する・思いやる	24.2%
5位	一緒にご飯を食べる	24.2%
7位	お互いのプライバシーを尊重する	22.8%
8位	なるべく耐える・我慢する	21.7%
9位	できるだけ会話する	20.8%
10位	寝室を別にする	19.9%

3. 定年準備について

～退職準備の3つのお役立ちキーワードは、「住まい」「趣味」「健康」～

定年退職に向けて、①準備していること、②準備しておけば良かったこと、③実際に準備したことは役に立ったか、をお聞きしました。

①と②を比較すると、「準備しておけば良かったと後悔する人が多いが、準備している人は少ない」ことは、「退職金の金額の確認」「新しい趣味を作る」「新しく何かを学び始める」という項目だということがわかります。退職後の生活への備えに加えて、定年後の時間を有意義に使うための選択肢を広げるための準備も大切なようです。なお、「新しい趣味を作る」「新しく何かを学び始める」は、③でも上位に入っています。

③については、すべての項目において「役立った」という回答が5割以上となりました。特に「役立った」という回答が多かったのは、「住まい」に関すること、「新しい趣味・学び」に関することでした。実際に「準備できた」人は少数でしたが、行動を起こした方は、「役立った」ことを実感しています。

また、「健康」に関することは、健康保険や医療保険の再確認などの金銭面でのケアに加え、身体のケアも欠かせません。定年退職に向けて金銭面での備えをしている方も多く、役立ち度では「健康寿命を延ばすための準備」が上位に入っています。

① <定年退職前の50代60代夫に聞きました>

Q 定年退職に向けて、準備していることはなんですか。(複数回答・無制限)

① 定年退職後に向けて準備していること		
1位	年金見込み額の試算	37.7%
2位	特になし	33.5%
3位	自分の病気、健康状態のチェック	30.3%
4位	退職金の金額の確認	27.8%
5位	株式投資・運用	21.2%
6位	住宅ローンなどの確認	20.7%
7位	医療保険の保障内容の確認	20.1%
8位	定年退職後の就職活動（再就職）の検討	16.5%
9位	定年退職後に加入する健康保険制度の検討	14.7%
10位	健康寿命を延ばすための準備	14.4%
...		
12位	新しい趣味を作る	12.8%
...		
17位	新しく何かを学び始める（資格取得など）	7.3%

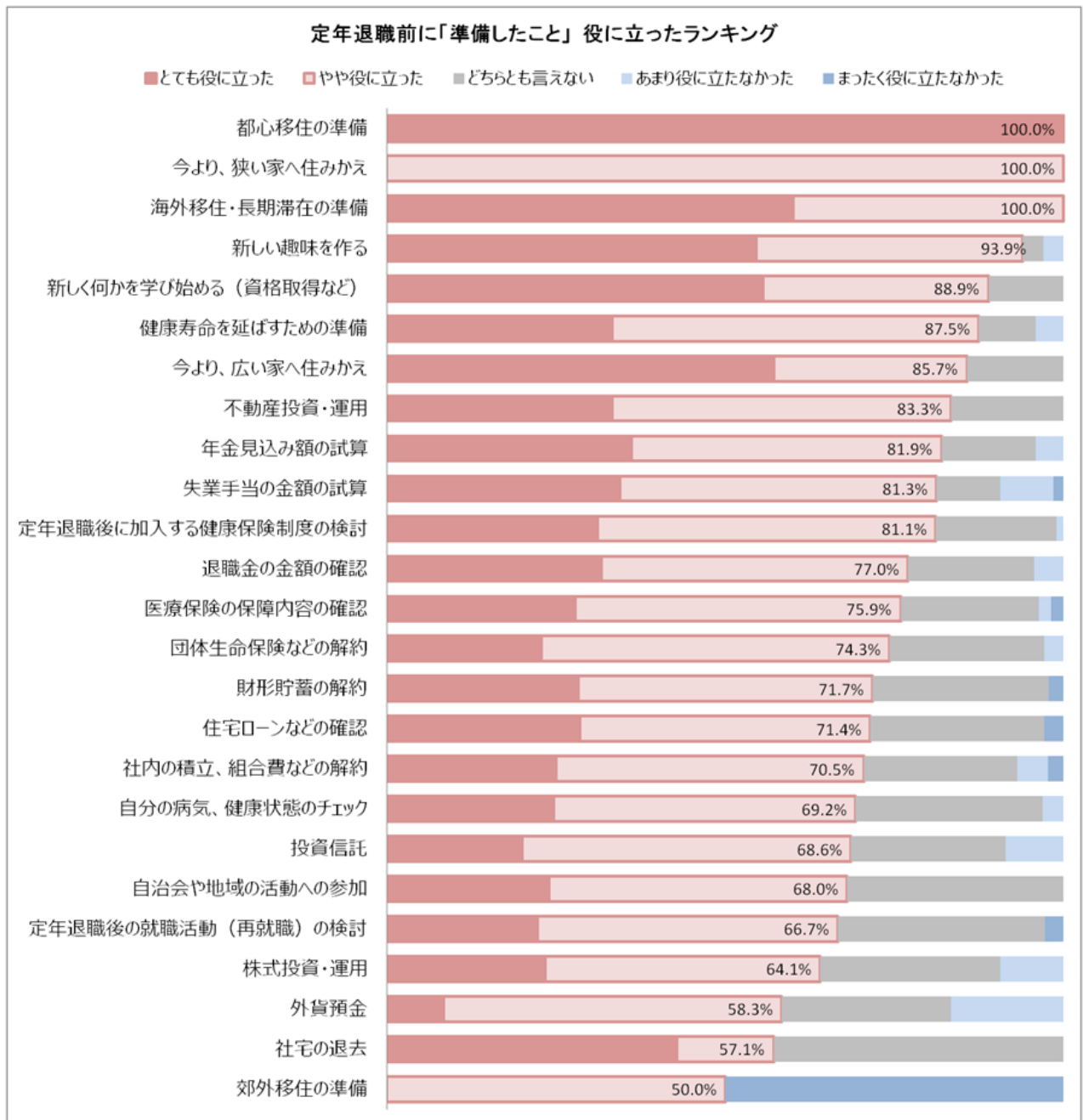
② <定年退職後の50代60代夫に聞きました>

Q 定年退職に向けて、準備しておけばよかったことはなんですか。(複数回答・無制限)

② 定年退職前に準備しておけばよかったこと		
1位	年金見込み額の試算	44.7%
2位	退職金の金額の確認	39.3%
3位	新しい趣味を作る	31.1%
4位	特になし	25.7%
5位	自分の病気、健康状態のチェック	25.2%
6位	定年退職後に加入する健康保険制度の検討	23.3%
6位	定年退職後の就職活動（再就職）の検討	22.3%
8位	医療保険の保障内容の確認	16.5%
9位	新しく何かを学び始める（資格取得など）	16.0%
10位	失業手当の金額の試算	15.5%

③ <定年退職後の50代60代夫に聞きました>

Q あなたが定年退職前に準備できたとお答えになったことについて、その準備は、退職後の生活にどの程度役に立ちましたか。



4. 定年後の住まいについて

～定年したからこそ住みかえたいくなる3つの理由は、
「バリアフリー」「子供との近居」「今の家が広すぎる」～

定年退職前では31.4%だった夫婦2人世帯が、定年退職後には62.9%と6割を超えました。50代60代は、夫の働き方の変化に加え、子供の独立等で、夫婦2人で過ごす時間が長くなるのがうかがえます。

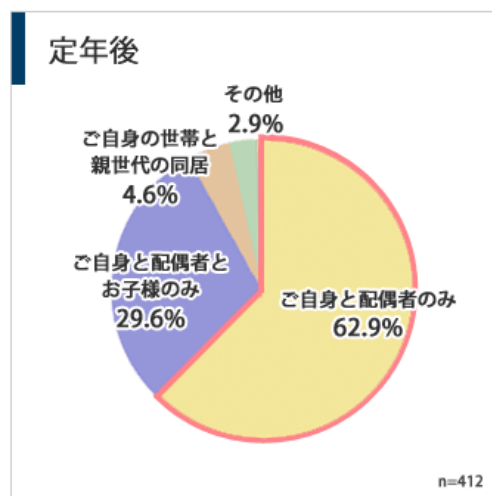
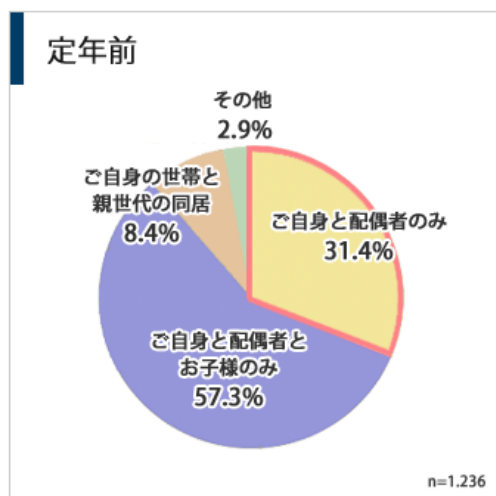
家族の変化は、住まいにも大きく影響します。今回の調査で、住みかえを検討される方は、定年前で15.1%、定年後で9.2%でしたが、近年、60歳以上で住みかえをされる方は増えています(当社調べ)。<資料1>

そこで、住みかえを検討している方に、その理由もお聞きしたところ、「バリアフリーなど老後に住みやすい住宅に移りたいから」「子供の家の近くに住みたいから」「今の家が広すぎるから」という理由が定年退職後から増えているのが目立ちました。

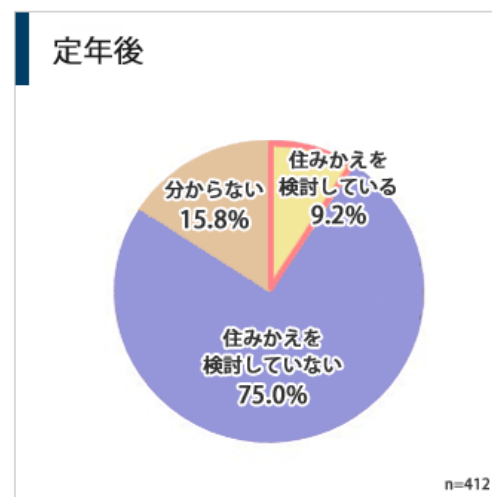
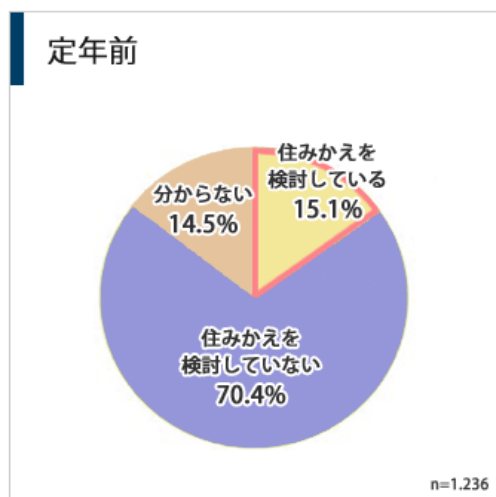
50代60代は、日々の通勤がなくなり行動範囲が変わる、子供の独立で部屋が余る、子供の近くに住みたい・住ませたいなど、様々なニーズが発生します。そんな50代60代のご夫婦への「住まい」に関する3つの提案を<資料2>でご紹介しております。

<定年前・定年退職後無職の50代60代夫婦に聞きました>

Q 現在の家族構成を教えてください。



Q あなたは今後、現在のお住まいからの住みかえを検討していますか。



<住みかえ検討者に聞きました>

Q あなたが住みかえを検討しているのはなぜですか。(複数回答・無制限)

定年前の夫婦のランキング TOP10			定年後の夫婦のランキング TOP10		
1位	家が老朽化しているから	33.1%	1位	家が老朽化しているから	34.0%
2位	もっと生活に便利なところに住みたいから	22.4%	2位	バリアフリーなど老後に住みやすい住宅に移りたいから	28.2%
3位	バリアフリーなど老後に住みやすい住宅に移りたいから	17.2%	3位	今の家が広すぎるから	16.5%
4位	もっと駅に近いところに住みたいから	16.4%	4位	もっと生活に便利なところに住みたいから	15.5%
5位	住宅の種別を変えたいから (例：マンションから一戸建てへの変更など)	14.8%	4位	もっと駅に近いところに住みたいから	15.5%
6位	もっと広い家に住みたいから	13.1%	6位	子供の家の近くに住みたいから	13.6%
7位	もっと住宅設備が良いところに住みたいから	12.3%	7位	住宅の種別を変えたいから (例：マンションから一戸建てへの変更など)	12.6%
8位	もっと自然環境が良いところに住みたいから	11.7%	8位	もっと住宅設備が良いところに住みたいから	11.7%
9位	あてはまるものはない	10.7%	9位	もっと自然環境が良いところに住みたいから	9.7%
10位	今の家が広すぎるから	10.1%	10位	あてはまるものはない	7.8%
...					
14位	子供の家の近くに住みたいから	3.3%			

【調査概要】

- 調査名称：「定年退職後の夫婦の生活」意識調査
- 調査時期：2015年10月30日～2015年11月1日
- 調査対象：首都圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)、関西圏(大阪府・兵庫県・京都府)に在住のサラリーマン・元サラリーマン世帯(妻は専業主婦またはパート・アルバイト)の50代60代の夫婦
- 有効回答数：2,060人
- 調査方法：インターネット上でアンケート回答

※本調査結果の詳細は、60歳からの住みかえサイト「ノムコム60→」でもご覧いただけます。

http://www.nomu.com/60/survey/vol02_1.html

以上

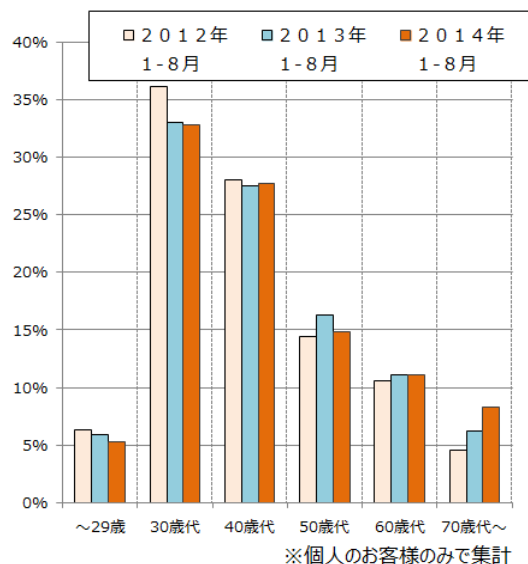
本件に関するお問い合わせ窓口
 野村不動産アーバンネット株式会社 経営企画室(津賀・兼武)
 TEL 03-3345-7779・FAX 03-3345-8273

<資料1>

野村の仲介+で不動産の購入をされたお客様を年代別に集計したところ、60歳以上の購入成約者の割合は、2012年が15%、2013年が17%、2014年が19%と2ポイントずつ上昇しています。

不動産コラム「いまどきシニア」の不動産売買～敬老の日にかけて～でも、詳しくご紹介しています。

<http://www.nomu.com/column/others/vol284.html>



<資料2>

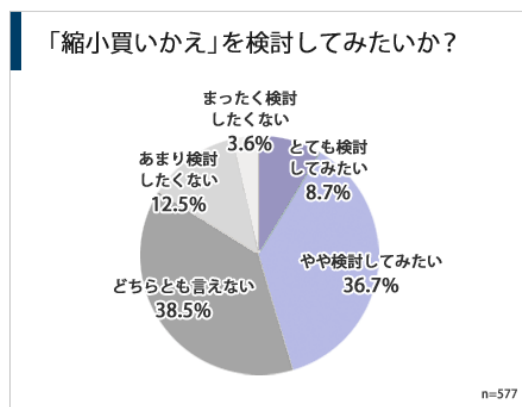
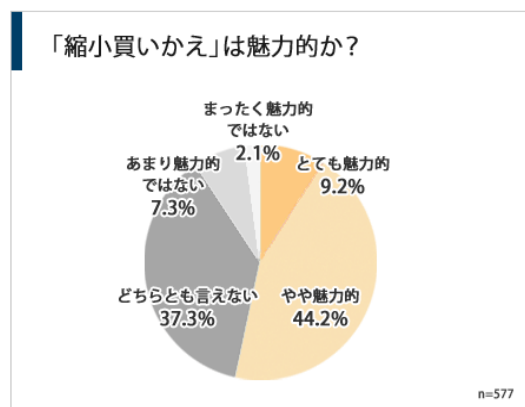
■縮小買いかえ

かつての住宅すごろくは、賃貸アパートからスタートし、分譲マンション、郊外の庭付き一戸建てが終の棲家とされてきましたが、現在では住宅すごろくの上がりは多様化しており、ライフステージにあわせて、広い⇄狭い、都心⇄郊外など、臨機応変に住みかえをする、スマート住みかえ派が増えています。

買いかえ先は広い住まいにステップアップするとは限らず、子供が独立して夫婦2人になった場合など、一戸建てからマンションへ移る、4LDKのマンションから2LDKのマンションへ移るケースもあります。

住宅の売却代金をすべて使わずに住みかえ、一部をセカンドライフの充実などに振り向けることを「縮小買いかえ」と呼びます。

今回の調査にご協力いただいた方で住みかえの意向のある方に、ゆとりのある住みかえ手法の一つとして「縮小買いかえ」をご紹介したところ、53.4%が魅力的と回答、45.5%が検討してみたいと回答されました。



ゆとりのある住みかえによって、定年退職を記念した夫婦での記念旅行などを企画する方もいらっしゃいます。

「野村の仲介+」ウェブサイトでは、そんな定年を迎える夫婦を主役にした、CM動画をご紹介しますので、あわせてご覧ください。

「野村の仲介+」ウェブサイト <http://www.nomu.com/plus/>

■三世代での不動産の終活

50代60代では、親の家、夫婦の家、子供の家と、それぞれが持ち家に住んでいるケースもよく見られます。住みかえを検討する際は、家が空き家になってしまう前に家族で話し合う機会を設けて三世代での不動産の終活を行うと、世代間での住みかえや同居が実現するかもしれません。

また、子供や孫の近くに住み、お互い助け合える、近いけれども近すぎない『近居』という住まい方の選択もご紹介します。

『近居』という住まい方 <http://www.nomu.com/plus/kinkyoo/>

■60歳からの住みかえサイト「ノムコム 60→」

住みかえや相続・贈与の知識を学び、老後のことを考えるサイトです。住みかえ成功体験談などもご紹介します。



<http://www.nomu.com/60/>

「一億総活躍社会」の実現に向け、シニア層の就業促進による更なる活躍が期待される中、住まいは、ますます重要なものとなります。働き方や家族のかたちにあわせた住みかえや不動産の終活(三世代コンサルティング)は、お気軽に「野村の仲介+(PLUS)」店舗にご相談ください。

以上